

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本国憲法 第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

久美子の論陣 本会議一般質問

# 高年齢者・障害者施策を提案

要支援 1・2の 介護ベッド購入に助成を

都議会共産党の要求で、要支援1・2、要介護1で18年3月31日時点で介護用特殊ベッドの貸与を受けていた者で、区が特殊ベッドが必要と判断した方に、購入費用の助成をすることになりました。共産党区議団の交渉で、文京区でも実施が決まったものです。

- ◆助成額は10万円を限度とし、区と都と折半。
  - ◆対象は平成18年4月1日～19年3月31日までに購入した人。3月30日申請〆切。
- 渋谷区のように、さらに期間を延長し、リース代の助成も行うよう要請しています。

要介護者に障害者控除の適用を  
——大増税に抗して——

「障害者控除」は、65歳以上で6ヵ月以上寝たきりの方、認知症のある方も対象となり、区に申請して「障害者控除対象者認定書」を受けることで可能となります。世田谷区では、介護度1、2の方も認定しています。高年齢福祉課が窓口。

控除額	特別障害者控除	所得税40万円 住民税30万円
	障害者控除	所得税27万円 住民税26万円

高齢者の住民税増税分  
2億3千万円は高齢者に還元を

文京区では65歳以上の非課税措置の廃止、公的年金控除の縮小、老年者控除の廃止で2億3千万円の収入増となります。また新たに住民税が課税になる高齢者で激変緩和措置を受けられない方が、約800人にのぼることがわかりました。台東区では増税分を使って高齢者福祉、介護、障害者福祉15事業の激変緩和策を実施していますが、文京区でも打ち出すべきです。

「障害者就労支援センター」を！

23区中22区で設置済の「就労支援センター」を、早急に設置せよと要求したことに対して、区の答弁が二転、三転し、紛糾しました。結局、今年4月から区内各所の作業所等を活用して、分散型で就労相談・援助体制をつくり、それを「就労支援センター」と呼びますという答弁に変わりました。呼称だけを変えることくさにあきれました。工房等も備えた明るくきれいな施設で「就労支援センター」を整備するよう要求しています。

第26回「白千市」大盛況  
ありがとうございました



11月12日 後援会「白千会」の恒例のバザー「白千市」を開きました。当日お手伝いに50人以上がかけつけて下さり、健康チェックや署名コーナーも盛況でした。私は焼きそば売り。当日、生活相談が何件も寄せられ大忙し。12月23日はもちつきで、一年をぐくりました。

シンポジウム「明化小・林町小・十中の小中一貫校を考える」に参加しました

12月10日 アカデミー千石にて。報告は、文京の小学校の先生、品川区の中学教諭、そして千石在住の広田照幸教授でした。品川では「私服の子（小学生）と制服の子（中学生）が同じ教室で同じドリルをやっている」という話に衝撃を受けました。



お話しする広田教授



山崎邸の天井とステンドグラス

あかがね「銅御殿」を守れ！と隣の山崎邸の見学会開催  
一区は工事強行をストップさせよー

11月25日 湯立坂（小石川5）の山崎邸の公開が行われ、大正の洋館に「保存できないものか」との声しきり。隣は国の重文指定の「銅御殿」。地下2階地上14階のマンション（野村不動産）建設をめぐる、区のあるせんに、工事強行する動きもあり、区の姿勢が問われています。

2007 新春号

こうだ久美子の 区議会レポート

議員控室  
☎5803-1317 (FAX) 3811-3197  
http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/  
kouda@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

日本共産党区議会議員

文京区千石2-43-11  
☎3946-2218 (FAXも)

日本国憲法の完全実現——そんな社会を目指して力を尽くします。

ますます張り切って、区民の願いを実現する先頭に立って、奮闘します！

共産党は他にも「訪問介護利用料助成条例」や「耐震補強工事助成条例」「議員報酬等引き下げの条例」など、4年間で24回の条例提案を行い、そのうち21回は市民フォーラム・無所属との共同提案。議会での共同に、強力な区民世論が加われば必ず実現できる——そう確信した4年間でした。



小竹ひろ子都議と一緒に

4年前「全小中学校の普通教室にクーラー設置を」とPTAの皆さんと要求し続け、とうとう実現が決まった時、子ども達が大喜びでした。今回は、「子どもの医療費無料化を」と、この4年間に8回の条例提案をし続け、とうとう実施が決まりました。

とうとう区長とオール与党を  
追いつめた！ 条例提案

## 小・中学校の医療費無料化 10月実施、全会派一致で可決

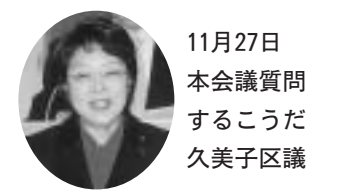
——夏休み前の6月に実施早めよと修正提案、新生・自・公否決——

条例案と各党の態度

条例	内容	共産	新生(民)	自民	公明	市民	無(前)	無(田)
2006年9月(8回目)	小6まで無料に	○	×	×	×	○	○	×
2006年11月(修正案)	小中学生無料に6月実施	○	×	×	×	○	○	—
2006年11月(当局案)	小中学生無料に10月実施	○	○	○	○	○	○	○

「共産党が言い出した子どもの医療費無料化なんか、23区中、最後になってもやらない」とツッパっていた区長も、とうとう区民世論の前に折れました。しかし、10月実施は、あと1年先でいかにも遅い。「善は急げ」と、「6月実施」と「入院食事代助成」を盛り込んだ修正案を市民・無所属

とともに提出。結果は、新生（民主）・自民・公明の反対で否決され、通院・入院（食事代除く）費無料、10月実施と決まりました。  
◆第3子以降の保育料無料 公立保育園は無料に、認証保育園・保育ママは上限2万円を限度に助成。  
◆不妊治療費年10万円助成 いずれも4月から実施です。



11月27日 本会議質問するこうだ久美子区議  
◆障害者の施策について  
◆医療・介護の負担軽減を  
◆ごみ・リサイクル問題  
◆高齢者の増税対策  
(4面へ)